

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育実習指導 I Study of Practical Training of Nursing I		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	選択	中津 愛子・ 梅田 美穂・鄭 曉琳	
概要				
保育実習生としての基本的態度の形成、実習に必要な事前の準備や学習について、演習形式で行う。				
到達目標				
(1) 実習生としての基本的態度や心構えを身に付ける。 (2) 保育実習の意義と目的を理解し、実習に必要な準備を行うことができる。 (3) 子どもや利用者の方々の人権とプライバシーの保護及び守秘義務について理解するとともに、保育現場の見学・観察を通して、子どもや利用者の方々への理解を深めることができる。 (4) 実習の計画・実践・観察・記録の方法や内容を具体的に理解する。 (5) 実習の事後指導を通して、今後の課題を明確にすることができる。				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 保育士の仕事について 2 保育実習の意義と目的、実習概要 3 保育実践の模擬 4 保育者に必要な会話表現 5 保育者としての基本的態度（服装・行動） 6 保育者としての基本的態度（言葉遣い） 7 プライバシーの保護及び守秘義務 8 保育教材の制作① 9 保育教材の制作② 10 絵本の読み聞かせ・紙芝居の演じ方 11 絵本の読み聞かせ・紙芝居の実演練習 12 絵本の読み聞かせ・紙芝居の実演 13 見学観察実習の心得 14 附属幼稚園の見学観察実習 15 見学実習の反省・まとめ		【後期】 16 実習規定、実習着、実習必要書類の説明 17 保育観察①子どもの姿、 障害者支援施設の概要 18 保育観察②保育のねらい・保育者の援助 児童養護施設の概要 19 実習生プロフィール、証明写真 20 保育実習日誌の書き方 児童発達支援センターの概要 21 保育所見学観察実習の事前 オリエンテーションについて 22 見学観察実習の先輩の話 23 実習の心得・事前指導・守秘義務 24 施設見学観察実習 25 保育実習 I（施設）日誌の記入 事前オリエンテーションについて 26 保育実習日誌の書き方・お礼状の書き方 27 保育実習 I（施設）のねらい 「実習にあたって」の書き方 28 保育実習 I（施設）の心得・日誌指導 29 保育実習 I（施設）の先輩の話 30 保育実習 I（施設）の心得・手続き確認 事前指導		
テキストおよび 参考文献	テキストとして配布：「保育（保育所・施設）実習の手引き」山口短期大学			
メッセージ など	・保育実習の事前事後指導にあたる科目であり、保育実習を受ける学生は必ず受講しなければならない。12月12日・13日に保育所見学観察実習あり。 ・提出物の期限が守られない場合、実習を受けられなくなるので注意をすること。 ・保育士証：必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 実習生としての基本的態度や心構えを身に付ける。	実習への意欲があり、あいさつ、礼儀、言葉遣い、服装等が完璧で、他の学生の模範となる。	実習への意欲があり、礼儀、言葉遣い、服装等、実習生に必要な態度を身に付けている。	実習への意欲はあり、実習生としての最低限のマナーは身に付いている。	実習への意欲がなく、実習生にふさわしい言葉遣いや服装、礼儀等が身に付いていない。	授業への取り組み状況 (知識・理解・関心・意欲・態度)	30%
(2) 保育実習の意義と目的を理解し、実習に必要な準備を行うことができる。	保育実習の意義目的を正しく理解し、実習に必要な書類の作成や名札制作を完璧に行う。	保育実習の意義や目的をほぼ理解し、期限内に書類の提出や名札制作ができる。	実習に必要な書類や名札制作はできるが、提出の遅れがみられる。	実習に必要な書類の提出や名札制作ができていない。	実習に必要な書類作成及び名札制作 (技能)	20%
(3) 子どもや利用者の方々の人権とプライバシーの保護及び守秘義務について理解するとともに、保育現場の見学・観察を通して、子どもや利用者の方々への理解を深めることができる。	子どもや利用者に積極的に関わり、子どもや利用者から学び考えを深めたことを日誌に記述することができる。	子どもや利用者に関わり、理解したことを日誌に書くことができる。	子どもや利用者の姿を日誌に記述しているが、観察のポイントをつかんだ記述にはなっていない。	子どもや利用者をもどくように理解したかということが、日誌の記述から読み取れない。	見学実習日誌 (思考力・判断力)	30%
(4) 実習の計画・実践・観察・記録の方法や内容を具体的に理解する。	部分保育の計画・実践・記録・反省までの過程を詳しく書くことができる。	部分保育の計画・実践・記録・反省までの過程をほぼ抜けなく書くことができる。	部分保育の計画・実践・記録・反省までを書いているが、いくつか抜けた箇所がある。	部分保育の計画・実践・記録・反省までの過程を書いていない。	課題レポート (思考力・表現力)	10%
(5) 実習の事後指導を通して、今後の課題を明確にすることができる。	施設実習に関する実習先からの評価や自己評価をもとに、自分で今後の課題を見出し、レポートにまとめることができる。	施設実習に関する実習先からの評価や自己評価をもとに、ほぼ一人で今後の課題を見出し、レポートにまとめることができる。	今後の課題を見出すために、他者のアドバイスをもらえば、レポートにまとめることができる。	自分の今後の課題が見いだせず、レポートが提出されない。	課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10%